

# 国内初!!



臨床試験で美肌データを持つ  
次世代のUSA素材

加水分解卵殻膜(米国特許)  
を8%配合!!



スキンケアクリーム『AEM8』

美容液『AEF26』

skin  
firmness

night  
filling  
complex



エンチーム(株) 弓ヶ浜工場  
取締役 工場長  
岡村 真澄 氏

## ■米国製加水分解卵殻膜8%配合へのこだわり

このほど開発したスキンケアクリーム『AEM8』および美容液『AEF26』には、日本初上陸となる米国特許素材の加水分解卵殻膜を使用しました。

8%という高濃度の配合にこだわったのは、原料のエビデンスに、45～65歳女性被験者20人を対象とする臨床試験で、8%配合クリームを朝と就寝時の2回、8週間顔面に塗布した結果、4週間目からシワ・タルミに対する顕著な効果が認められたとする結果を受けてのものです。

## ■試作回数100回超、卵殻膜特有の課題を克服

8%配合の製品開発で最も大きな課題となったのは、「乳化の維持が極めて難しい」点と、「原料臭が強クマスクングが難しい」点でした。

乳化の維持については、加水分解卵殻膜の添加タイミングや温度条件など、製造手順を変えても

乳化安定性の改善にはつながらず、安定していた処方でも使用感の改善のために水溶性増粘剤を微量減らしただけで乳化が崩れるなど、細かなバランス調整に試行錯誤を重ねました。原料臭についても、4%の試作品でも強い原料臭を感じ、8%配合となると当然マスクングが必須でしたが、香料や精油との組み合わせでは不快感が増すケースも多く、約600種類の化粧品原料の中から、相性の良い天然消臭成分に辿り着くまで地道な試行錯誤を繰り返すなど、香り設計にも大変苦労しました。

試作回数は、処方のベースが固まるまでに40回以上、その後の感触調整に10回以上、試験用・評価用に10回以上、ほか細かい試作を合わせるとトータル100回以上の試作を重ねてようやく製品化に至っています。

## ■試作から本生産への移行で製造手順確立へ

試作スケールから本生産スケールへ移行する際、製造手順の確立が大変でした。特に加水分解卵殻膜を8%配合する工程設計には多くの検討・試作生産を行いました。試作スケールでは多少の無理が通用したものの、スケールが大きくなると同じ方法では対応できず、特に本生産スケールでは「どの工程で加水分解卵殻膜を投入するか」「どのように均一にクリームへ配合するか」が重要で、安定した製造手順の確立に多くの工夫が必要でした。

## ■オリジナル“スキン・ファームネス処方” “ナイト フィリング コンプレックス”誕生

今回の開発経緯を踏まえ、加水分解卵殻膜をはじめとしたシワ改善の成分の組み合わせと、処方が生み出す独特の弾力感に着目して試行錯誤を重ねた処方を“スキン・ファームネス処方”および“ナイト フィリング コンプレックス”と命名しました。今後、完成品の肌がはずむような弾力を感じられる仕上がりを端的に表現したオリジナル処方として認知が進むことを期待しています。

## ■常に「本物」を追求、地域の雇用創出や社会貢献も

今後も、現行品に満足することなく、常に「本物」、すなわち効果を実感できる製品作りを追求していきます。弊社では、常にお客様が使って初めて価値を感じられる、手応えのある製品開発を続けることを目標としています。第1・第2工場による製品の品質管理体制もさらに強化し、OEM製品の開発・生産力を高めるとともに、安全性・再現性・安定供給をより高いレベルで実現し、取引先から信頼されるよう日々尽力していきます。

また、鳥取県、特に境港市に根ざす企業として、地域の雇用創出や社会貢献の拡大にも力を入れ、“ものづくり”を通じて地域に還元し、地元とともに成長していく企業となるように頑張ります。

業務用・OEMなどご要望がございましたら最寄りの弊社事業所までお気軽にお問い合わせください。

工場の詳細はこちら

